

平成30年第1回定例会 議案採決結果一覧表

分類	議案名(略称)	採決結果	赤間茂幸	大友三男	佐藤千加雄	熱海文義	石川壽和	若生寛	赤間滋	和賀直義	高橋重信	高橋壽一	石川秀雄	千葉勇治	吉田茂美	石川良彦
人事 P16-17	人権擁護委員(相澤恵子氏、鈴木利博氏)	適任	無記名投票													
	固定資産評価審査委員会委員(高橋貞吉氏)	同意														
条例制定 P14-17	定住促進団地の分譲に関する条例の制定について	可	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の制定について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	課設置条例 機構改革により各課の事務内容を再編成するもの	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	職員定数条例 職員定数を現状の職員数に合わせて変更するもの	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	職員の給与に関する条例 1時間当たりの給与額算定法を県人事委員会規則の改正を踏まえ改正するもの	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	国民健康保険税条例	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	企業立地及び事業高度化を重点的に促進すべき区域における固定資産税の課税免除に関する条例	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	国民健康保険条例 法改正に伴い文言の整理を行うもの	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	後期高齢者医療に関する条例	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	介護保険条例	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
P16-17	指定地域密着型サービス事業者等の指定に関する基準を定める条例	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	上水道事業給水条例	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	吉田川流域溜池大和町外3市3ヶ町村組合規約 組合事務所の住所の変更	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
和解	和解および損害賠償の額の決定 町有施設内における物損事故についての相手方と和解するもの	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
その他	財産の貸付について 旧大郷歯科診療所の土地・建物の貸付の延長を行うもの	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
平成29年度補正予算 P12-13	一般会計(第9号) 46億8217万円(55万円↓)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	一般会計(第10号) 46億8235万円(18万円↑)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	国民健康保険(第3号) 9億7318万円(4076万円↓)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	介護保険(第3号) 10億2036万円(4696万円↓)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	後期高齢者医療(第2号) 7725万円(725万円↓)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	下水道事業(第3号) 2億4090万円(40万円↑)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	農業集落排水事業(第3号) 5838万円(8万円↑)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	戸別合併処理浄化槽(第3号) 5863万円(140万円↓)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	宅地分譲事業(第2号) 1787万円(547万円↓)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	水道事業会計(第3号) ①収益的支出:2億4097万円(83万円↓) ②資本的支出:8395万円(80万円↓)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
平成30年度当初予算 P4-5	一般会計	可	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	国民健康保険	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	介護保険	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	後期高齢者医療	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	下水道事業	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	農業集落排水事業	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	戸別合併処理浄化槽	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
宅地分譲事業	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
水道事業会計	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	

可:可決 否:否決 ○:賛成 ●:反対 退:退席 欠:欠席
※可否同数でない限り、議長(石川良彦)は採決に加わらない。

住民バス指定管理を公社に委託

1月23日に第1回の臨時会が開催され、住民バス指定管理者の指定などを審議し、原案のとおり可決しました。

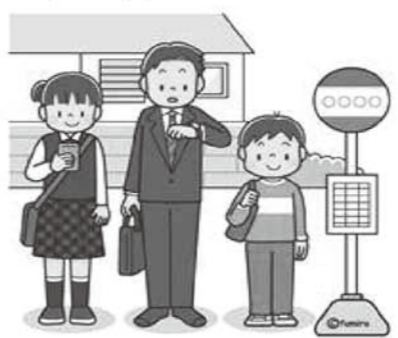


問 過去に地域振興公社は運行に問題があったが、再び公社に戻して安全運行が確保できるのか。
答 企画財政課長 住民バス責任者や運行管理者、代表取締役等に指導を徹底していく。

問 安全運行管理の徹底を図るための考えは。
答 町長 設置理念を、しっかり公社に伝え、信頼される住民バスにしたい。

問 選定委員会で、申し込みのあった2者が却下されたとの事だが、どのような評価だったのか。
答 参事 住民の方々の安心を担保するうえで、マイナス要素があると評価した。

問 1年ごとに指定管理者を指数評価し、管理すべきでは。
答 企画財政課長 モニタリング評価制度を導入し、毎年評価しながら指定管理の在り方について検討する。



平成30年第1回臨時会 議案採決結果一覧表

分類	議案名(略称)	採決結果	赤間茂幸	大友三男	佐藤千加雄	熱海文義	石川壽和	若生寛	赤間滋	和賀直義	高橋重信	高橋壽一	石川秀雄	千葉勇治	吉田茂美	石川良彦
条例改正	職員の給与に関する条例 組織変更に伴い条例の一部を改正するもの	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
その他	住民バス指定管理者の指定	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
補正予算	一般会計(第8号) 債務負担行為の追加(住民バス管理運営業務)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

可:可決 否:否決 ○:賛成 ●:反対 退:退席 欠:欠席 ※可否同数でない限り、議長(石川良彦)は採決に加わらない。



高橋 重信 議員

緑の郷へ集客を

物産館と連携を強化し誘客を図る(町長)

問 「道の駅おおさと」が「井ヶ田製茶株」と協定を結び大幅な集客が見込まれる。「パストラル緑の郷」の環境を整備し、その客足を向けられないか。

答 町長 「パストラル緑の郷」はグリーン・ツーリズム事業を展開し、都市と農村の交流事業を展開している。「井ヶ田製茶株」と「道の駅おおさと」の活性化プランに係る連携協定を締結したことにより、物産館改革プランを本格化させたいと考えている。集客力やお客様満足度といった観点から「パストラル緑の郷」への誘客など、指定管理施設が相乗効果を発揮できるように連携強化に努める。



▲集客が望まれる緑の郷

平成31年度予定していた3歳児教育実現は

幼保連携型認定こども園として平成32年度に延期する(町長)

3歳児教育の早期実現を

問 前町長は、3歳児教育を延期してきたが、平成29年6月議会で全議員が賛成し、平成31年度から実施する事になっていたが、なぜ平成32年度に延期するのか。

答 町長 東北財務局から財政全般の評価を受け、特に、起債残高を指摘され、多額の事業費投入はできないと判断し、幼児教育サービスを持続的に提供するためには、国の幼保連携型認定こども園にしていくしかないかと判断した。

問 平成31年度開園はどうしてもできないのか。

答 町長 2億円以上の予算を伴う事業なので、町財政を考えるとできない。

問 平成28年度、起債約66億8千万円で、赤ちゃんも含む、町民1人当たり81万円の借金を背負わされている状況で、大変厳しいのは理解できるが、平成32年度には3歳児教育を確実に実現出来るのか。

答 町長 平成32年度から開始することは、県にお伝えし承知していただいている。



大友 三男 議員

町民の理解が得られるか

問 事業費の総額より、坪単価10万円の宅地分譲が完売できるのか、また町民の理解が得られるのか。

答 町長 販売方法については、条例及び規則等を制定し、一定価格を定め、公募により、随意契約とする。この事業の目的は、まち・ひと・しごと創生総合戦略の「移住・定住の促進等」で新しい人の流れをつくり、持続的に発展するまちを創る」の実現に向け、子育て世代のマイホーム取得を支援し、移住定住の促進を目指すものだ。販売価格は公共施設分を除いた、宅地部分に係る工事費を基に算出した価格に設定したい。移住定住の促進により、人口の流出の抑制と人口構造の若返りを図り、持続的に発展する町を創ることに关しては、理解を得られると考える。

副町長不在での町政執行

問 昨年、副町長人事が否決となり、今後の町政執行をどのように進めて行くのか。

答 町長 1月より参事の職を設け、事務執行に支障のないよう対応している。公約の重点政策をはじめ、各施策を計画的に推進するには補佐役が必要だ。議会には補佐役を賜りたい。



▲幼児教育の充実を(すくすくゆめの郷)

分譲宅地造成費2億円の回収を

問 投入した2億円の税金を回収すべきで、なぜ約8千万円のマイナスとなるような、坪単価8万5951円で販売しなければならぬのか。

答 町長 投資した分を回収するには、高価になり販売は難しく、人口増、定住促進を優先に考えた場合、道路など公共施設分の工事費を除いた価格に設定するしかない。

問 町民の方々に、回収出来ない事の説明責任を果たすためにも、回収困難な事業をなぜ行ったのか、第三者委員会を設置し検証すべきではないか。

答 町長 第三者委員会を設置する前に、議会で調査を先に行つて頂き、方向性が出ない場合、町として監査の基準があり、それなりする方法を検討する。

一般質問

一般質問



赤間 滋 議員

小・中学校の土曜授業実施の考えは

現状では考えていない(教育長)

問 幼児期に質の高い教育を提供するための取組みについて伺う。

答 町長 今後「幼保連携型認定こども園」への移行で、幼稚園・保育園教育の融合と教育環境や施設・設備の充実など、さらなる質の高い乳幼児教育の実現を図る。

問 小・中学校の土曜授業実施へ取り組む考えはないか。

答 教育長 土曜授業について現状では考えていない。学力向上は、本町教育行政の最重要課題である。他町村にはない取り組みをする中で、子育て世代の移住の促進にもつながると考えるが。

答 教育長 学校、家庭、地域の三者が連携して互いに役割分担しながら、土曜における子どもたちの活動機会の充実を図るにはどうしたらいいか、学校と協議しながら進めていく。

問 幼小中一貫教育への取り組みについて伺う。

答 町長 幼小中一貫教育を推進し、学ぶ力と自立する力の育成を図る。幼・小・中学校教職員が他校の指導内容を理解する研修の充実も図っていく。



▲旅たちの時(大郷中学校卒業式)

町長公約と施政方針をうけて

問 高齢者予防医療、介護予防、引きこもりの具体策について伺う。

答 町長 健康寿命延伸に向け、課題を整理し、効果的な健康指導に努める。引きこもりについては地域活動への参加促進、高齢者に見合った就業場所の確保や、小さな地域単位での取り組みなど効果的な対策を講じる。

問 老老介護・認認介護への取組みについて伺う。

答 町長 相談体制の充実強化を図り、必要なサービ

人口減少対策について

問 人口減少対策の取組みについて伺う。

答 町長 「大郷町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を基本とし、公約を組み入れた中で定住促進の具体的な施策を講じていく。

施政方針の実行裏づける当初予算がない、掛け声だけか

井ヶ田製茶(株)と協定し開発支援(町長)

問 「売れる農産物や高付加価値作物等の生産」を施政方針に掲げているが支援策が当初予算に計上されていない。掛け声だけか。

答 町長 必要に応じ予算化していく。井ヶ田製茶(株)とおおさと地域振興公社が商品開発等で協定を締結し、食産業と農の連携を図り全国に発信できる商品開発の支援をしていく。また、高付加価値の作物生産は、現在日本で栽培されていない薬草等の栽培技術指導をお願いしており、今後漢方薬関係の会社等と協議しながら、町づくりを生かしていきたい。

問 田中町政が考えている優良企業誘致の考えは。

答 町長 農業を成長産業としてとらえ、農業法人を積極的に誘致していく。販路などに優れている企業誘致に総力を挙げて進めていきたい。

問 高齢者が住み続けられるための具体的政策は。

答 町長 生きがいを持って暮らしていただくため、高齢化福祉計画の実践や、新たな交通弱者支援の取り組みも具体化し期待に応えていく。

問 開かれた行政をどのように進めるのか。

答 町長 町の課題・問題を提示し、それへの町民の意見を職員と一緒に受けて町の活性化につなげていきたい。



千葉 勇治 議員

施政方針における諸課題の具体的な取り組みは

農林系放射性汚染廃棄物処理計画は

問 バグフィルターが集じん能力を示す数値に誤りが判明。黒川地域行政事務組合での焼却中止を。

答 町長 誤りが判明したのは事実だが、バグフィルターの集じん能力を否定するものではなく、安全性に問題は無い。

問 400ベクレル以下の汚染廃棄物の処分計画は。

答 町長 すき込み処理する計画である。地域の皆さんへ丁寧に説明し、理解を得ていきたい。



▲安心・安全な米づくりを



石川 壽和 議員

保健事業を一つの部署で実施を

現体制が一番理想ではないか(町長)

地域包括支援センターの直営を

問 2025年、本町の高齢化率は、40%を超える見込みであり、保健事業の重要性がさらに求められる。現在、保健事業は、町民課、保健福祉課、社会福祉協議会でそれぞれ行っているが、ひとつの部署でできないのか。

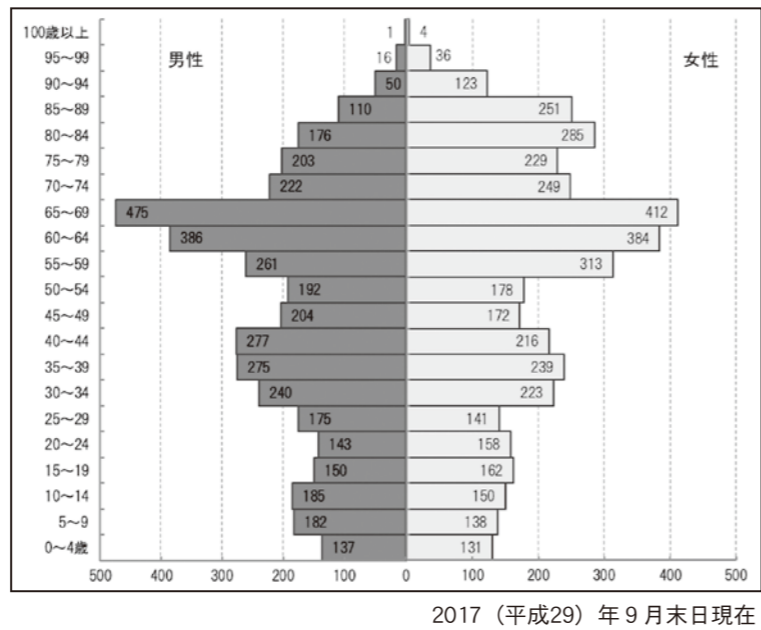
答 町長 当面各部署の連携の強化や相談窓口の周知の徹底等により対応したい。

問 地域包括支援センターの直営についての所見を。

答 保健福祉課長 直営にすると有資格者3、4名程度採用する必要があるなど問題が多々ある。現体制でいく。

答 町長 社協に委託した方が、柔軟性が出て、今の体制が一番理想だと思う。

■大郷町の人口ピラミッド



3農業法人の雇用人数等は

問 大松沢に誘致が決まった3農業法人について、予定されている雇用人数は。

答 町長 「㈱村上農園」は、正職・パート合わせて90名、「㈱東北アグリヒト」は、正職・パート合わせて130名、「㈱イグナルファーム大郷」は、パート20名をそれぞれ雇用予定。

教育・子育てに投資を惜しむな

子は宝、覚悟して取り組む(町長)

問 全国学力調査の評価と課題、今後の対応は。

答 教育長 平成27年度をピークに多少下降気味になっている。学校と連携し課題解決にあたる。

問 「生きる力」の基本となる学力向上策は。

答 教育長 家庭学習の定着のため、宮城教育大学との連携を強化し、サマー・ウインタースクールの充実を図る。教員の研修を実施し、指導力の向上に努める。

問 いじめ、不登校対策で指導主事訪問を要請しては。

答 教育長 県と連携を図り、教育相談体制の確立や専門職員訪問を要請していく。

問 3歳児幼稚園が平成32年度に延期に至った理由は。

答 教育長 出生数の減少と多額の設備整備費用が伴うことから、現在の施設を活用した「幼保連携認定こども園」を開設することとした。

問 3歳児は希望すれば、全員が入園できるのか。

答 保健福祉課長 幼児教育の時間は全員を受け入れ、それ以降は必要な方に保育を提供する。

問 経済的に厳しい世帯に向け、新入学児童学用品費の支給(就学援助制度)を入学前に実施すべきだ。

答 町長 平成31年度から対応する。



和賀 直義 議員

問 給食費負担の実質無償化、入学準備支援の拡充の内容と財源確保は。

答 町長 幼・小・中に在籍する児童の給食費を完全無償化、中学の新一年生にも運動着等を支援する。恒久的な財源確保は自主財源の確保に努め、効率的な財政運営に努める。

通学路の安全対策は

問 小学校の通学路で安全対策年度が未定になっている次の箇所の計画は。①大郷町歯科医院の付近の歩道の途切れ②神明社〜皆川鉄工所の制限速度の見直し③ちばや付近の県道に信号機を設置。

答 町長 いずれも県、公安委員会に要望していく。

「見守り訪問」を返礼メニューに

問 ふるさと納税の返礼に「高齢者の見守り訪問」をメニューに加えては。

答 町長 実施している他自治体の内容を検証し検討する。



▲学力向上へ(サマースクール)

問 誘致が決まるまでの経緯は。

答 町長 「㈱村上農園」については、平成28年10月より協議が始まり、平成29年8月に調印。他2社については、平成29年3月、6月に協議を始め、平成30年1月に調印を行った。

問 操業後、町で期待することは。

答 町長 自主財源の増収、地域農業の再生・発展と雇用創出である。特に地域の活性化に大きな期待がある。

問 町外からの勤務者のためのアパートの空き室は町で把握しているのか。

答 まちづくり推進課長 空き状態は把握していない。

問 町に照会があった時に紹介できる体制を検討してはどうか。

答 町長 町が進めている定住促進事業と併せて町と企業の要望に添った体制をとっていく。

一般質問

一般質問

見やすく、わかりやすいをモットーに



編集委員

委員長 吉田 茂美 副委員長 赤間 茂幸
 委員 大友 三男 委員 佐藤千加雄
 委員 若生 寛 委員 和賀 直義
 発行責任者 議長 石川 良彦

みんなの
おおさと

みんな仲間だ やってみよう!!
(大郷町特選 運動会)

第37回宮城県町村議会広
 報選考会において「おおさ
 とみんなの議会188号」が
 奨励賞を受賞しました。

奨励賞
受賞

議会の主な動き (1/1~3/31)	
月日	用務
1/5	黒川消防本部消防出初式 (大和町)
1/6	大郷町交通指導隊出初式
1/7	大郷町成人式・新年祝詞会
1/8	大郷町消防団出初式
1/9	広報広聴常任委員会
1/16	広報広聴常任委員会
1/19	県議長会議員研修会 (仙台市)
1/21	ふれあいセンター21推進協議会・演芸会
1/23	議員全員協議会・第1回臨時会・茂登枝会新春懇談会
1/25	議員全員協議会・知事との意見交換会
2/4	新春防災懇談会
2/6	総務産業常任委員会・教育民生常任委員会
2/6	くろかわ商工会おおさと懇談会
2/16	くろかわ商工会合併10周年講演会・記念式典 (大和町)
2/19	議員全員協議会
2/26	議会運営委員会
3/5~3/20	第1回 (3月) 定例会
3/6	広報広聴常任委員会
3/7	総務産業常任委員会
3/8	大郷中学校卒業式
3/12	教育民生常任委員会
3/15	大郷幼稚園卒園式
3/16	大郷小学校卒業式・議員全員協議会
3/16	議会改革調査特別委員会・議会運営委員会
3/22	春の交通安全運動大郷町拡大会議
3/24	大郷保育園卒園式
3/26	黒川地域行政事務組合ごみ処理場落成式・ゆめの杜保育園落成式
3/27	黒川森林組合通常総代会 (大和町)
3/29	広報広聴常任委員会

次回定例議会 予定

6月5日(火)から
午前10時~

6月8日(金)まで

介護福祉施策の充実を
求める意見書

老いやそれに伴う病気や
障害があっても、人間らし
く生活が維持できるように
するのは社会全体の役割で
ある。それが社会保障の基
本理念であり、国民の生存
権を保障する憲法第25条の
精神である。
すべての要介護者が個人
として尊重され、安心して

提出先

衆議院議長、参議院議長、
内閣総理大臣、財務大臣、
厚生労働大臣

生活がおくれる介護福祉施
策充実のための、意見書を
可決し、国に提出しました。

陳情

分譲販売価格引き下げを
市場反応を見て対応(町長)

問 早期完売の一番の方策は販売価格にある。価格変更の意思は。

答 町長 市場反応を見て対応する。

問 早期完売の方策は。

答 チラシ配布、ポスター掲示、看板、のぼり旗の設置等。また民間企業との連携による販売も力強く促進していく。

高崎団地・早期完売の方策は

問 購入者への支援策は。

答 町長 「住宅取得支援補助金」で最大60万円。「住宅ローン金利引き下げ」で借入金利が当初5年間、年0・25%引き下げ。「若者・子育て世代定住促進住宅取得支援奨励金」で固定資産額相当額を5年間交付するなどの支援をする。

問 固定資産税、町民税等の税収が見込まれるが、どのように考えるか。

答 町長 数字上はそうなるが、この事業に税収の見込み額を入れるような計算では財政は破綻する。



若生 寛 議員



▲分譲団地の早期完売を

問 法人への支援策は。

答 ①上水道配水管の敷設、②雇用対策は求職者が集まらない場合は支援する。③「大郷町企業立地及び事業高度化を重点的に促進すべき地域における固定資産税の課税免除に関する条例」の要件を満たした場合、3年間の課税免除を行う。

問 誘致3農業法人に加え、町内の法人も地下水を利用する。地下水揚水による地盤沈下、既存用水への影響は。

答 町長 地下水採取規制は県の公害防止条例で区域規制されているが、本町は指定区域外。揚水量の低下が見られれば揚水制限等を指導する。

農業法人への支援策

一般質問

研修会に参加しました

1/19 県議長会議員講座

場所 宮城県自治会館
 講師 呉 善花 氏
 (評論家・拓殖大学国際学部教授)
 演題 「政局の行方をめぐる国際情勢
 ～危機招く朝鮮半島の真実～」



1/23 茂登枝会会員との新春懇談会



場 所 ふるさとプラザ物産館
 テーマ 「町の現状と抱えている
 諸問題について」

2/6 くろかわ商工会会員との懇談会

場 所 ふるさとプラザ物産館
 テーマ 「大郷町商工業振興及び
 地域振興」



3/19 認知症サポーター養成講座

議員全員で受講し、認知症に対する理解を深めました。

講師 社会福祉協議会職員、
 地域包括支援センター職員、
 大郷町役場職員(保健福祉課)



総務 産業

2/6

町営住宅(高崎団地)について 公共施設等総合管理計画について

町営住宅について
 東沢団地20戸、田布施団地20戸の建替え事業である。平成31年度、木造平屋16戸の新築住宅へ第1次住み替え予定、平成32年度に木造2階建て16戸第2次住み替え予定である。

【意見】
 1、平成31年度から住み替えが始まるが、定住促進地域の活性化のためにも町営住宅の早期入居に努力されたい。
 2、既存町営住宅については、老朽化、耐震不足が深刻であり、新町営住宅への入居率を上げる努力をすべきである。

公共施設等総合管理計画について
 個別整備計画第一次は、平成29年3月策定、施設の種類ごとに維持管理や更新等の具体的な方針を定めた整備の重要性の高い施設から着手。一次計画として文化会館を定めた。

【意見】
 1、老朽化が進んでいる施設の点検については法定点検、定期点検だけでなく、重点的に点検を行うべきである。
 2、早期に全施設の査定判定をすべきである。
 3、今後は施設のスリム化を図っていく必要がある。施設の耐用年数が決まっているのに、長期計画を立てられないことが問題である。今後速やかに取り組むべきである。



▲きれいになった文化会館

教育 民生

2/6

介護予防事業のさらなる推進を!

平成30年度報酬改定の影響、課題、今後の取り組みについて調査した。

【意見】
 1、町内の待機者数は85名(うち要介護3以上は45名)となっており、要介護3以上の方が入所できるのに9カ月以上待つ状況である。実待機者数の把握が必要だ。
 2、平成30年度の介護報酬改定率は全体で0.54%アップで影響は年間480万円位になるが、調整基金運用により7期の保険料は引き下げとのこと。高齢化率の上昇、介護認定率の上昇が見込まれることから、さらなる介護予防・重度化防止、健康寿命の延伸事業を強化すべきである。

要支援・要介護認定者数
 (平成30年2月末現在)

区分	人数	
要支援	1	50
	2	53
要介護	1	119
	2	121
	3	88
	4	85
	5	40

3、事業者は介護従事者の人材確保に苦慮、2025年に向け介護従事者の充足状況の調査が必要だ。
 4、住み慣れた地域で安心して自立した生活が送れるよう、支え合いのまちづくりを推進すべきである。

その後どうなった...
第66回
追跡レポート

石綿セメント管(老朽管)の早期更新を

追跡レポート

(平成25年9月/決算審査特別委員会の意見より)

平成9年度から計画的に更新を進めてまいりました。現在の進捗率は67%です。
(おおさとみんなの議会/
平成26年8月/175号)

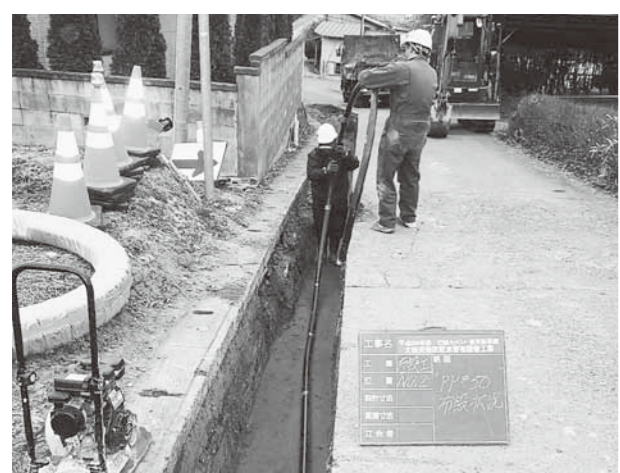
再追跡レポート

(平成29年9月/決算審査特別委員会の意見より)

その後の対応と今後の計画

石綿セメント管につきましては、平成9年度から計画的に更新を進めてまいりました。現在の進捗率は71%です。石綿セメント管は、老朽化に伴い強度が著しく低下し、漏水の原因となっていますので、今後も水道事業経営のバランスをとりながら、交付金事業等を活用し、更新スピードを上げて、積極的に更新を進めてまいります。

地域整備課長



歴史民俗資料館の整備を

歴史民俗資料館準備室に展示、所蔵されている資料は町の歴史を知るうえで大変貴重なものがあり、町の大きな財産である。町内外の人々が、いつでも見学できるように、早期の実現を望む。
(平成28年12月/
教育民生常任委員会調査報告書より)

その後の対応と今後の計画

旧大松沢小学校校舎である大松沢歴史民俗資料館準備室については、現在のところ建物の構造上の問題から、資料館として整備できる見込みが立っておりません。理由としましては、建築基準法上、博物館などのように不特定多数の人が出入りできる構造になっていないためです。改修工事をした場合、多額の経費が見込まれることから、今後の具体的な方策は決定しておりません。

資料館整備については、町の財産である文化財の保護や有効活用を念頭に置き、今後の方向性について模索してまいります。

社会教育課長

大郷町議会

第2回 議会報告会



開かれた議会をめざし、皆様の地域に議会活動の状況を報告・説明に伺います。下記のとおり報告会を開催いたします。どなたでも参加できますのでお気軽にご来場ください。

あなたの意見をお聞かせください。

- 内容(予定) ①平成30年度大郷町予算概要について
②意見交換会

会 場	日 時	担当班
ふれあいセンター 2 1	5月19日(土) 午後7時～8時30分	1班
大松沢社会教育センター	5月19日(土) 午後7時～8時30分	2班
中 粕 川 分 館	5月20日(日) 午後7時～8時30分	1班
中 村 分 館	5月20日(日) 午後7時～8時30分	2班

**※報告会には、
おおさとみんなの議会第190号を
ご持参ください。**

町の産業に

インタビュー



うまさが違う牛乳



菊池牧場（大松沢）

菊池 としゆき 敏之 はると さん
春杜 はると くん

牧場の創業は

昭和48年に原野を開拓

大郷の魅力は

人が優しく、平たんて温

暖で災害が少ない町

農場の規模は

40ヘクタール、従業員数

は7名、乳牛70頭、肉牛60

頭、和牛10頭

牧場の方針は

放牧でストレスフリーで

丈夫な牛を育てる。自家産

の牧草や町内産わら、飼料

米、おからなどの自家製発

酵飼料を与え、自然なミル

クを届ける。

販売先は

道の駅、夢実の国、百貨店

県内の産直、洋食店など。

うれしかったことは

美味しい米や牛乳、食肉

がとれること。加工した乳

製品が季節によって美味し

さが変わること。

今後の目標は

大郷産としてのブランド

をアピールし、生命を育む、

人にとってなくてはならない

食材・食品をつくり続ける。



編集後記

春は旅立ち、新しい出
会いの季節です。今年も
卒業式、入学式に参加い
たしました。

子は宝、お子さんがい
る人生はより豊かな人生
になります。

「子に幸せに生きてほ
しい」これはすべての親
の願いです。その為に子
どもたちに手渡せる大切
な贈り物の一つが教育と
考えます。このまちを元
気にする為、教育が大切
と再認識させられたしだ
いです。

和賀 直義